

美術科学習指導案 美術 I

題材名	名刺を作る「インターンシップで活用する名刺をつくろう」		
題材の目標	① 名刺による伝達表現を理解し、創造的に表す知識・技能を身につけること。(知識・技能) ② 名刺の機能に応じたデザインの発想・構想すること。(思考・判断・表現) ③ 名刺表現から自他の見方・考え方を広げること。(思考・判断・表現) (主体的に取り組む態度) ④ 社会生活を豊かにするデザインの良さや美しさを感じ取ること。(主体的に取り組む態度)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
・デザインの機能や表現形式の特徴を理解し知識を高めようとする。また、その上で、自分らしさを表現するための発想や創造的に表す技能を身に着けるようとしている。	・名刺の使用目的に応じた発想・構想を高め、色・書体・大小・配置などのデザインについて思考しようとする。	・名刺の表現意図を知ること、自他の見方・考え方を広げようとする。また、伝え合う力高めようとする。 ・日常における生活を彩るための豊かな感性を高めようとする。	
題材計画			
次	時	評価基準と評価方法	学習活動
一	1 2	【評価基準】 名刺の表現形式から機能や効果を理解しようとする。 (知識・技能) (主体的に取り組む態度) 【評価の方法】 記述観察・行動観察	① 様々な名刺を見て、職種や使用目的によって色・書体・大小・配置など工夫していることに気づく。 ② 名刺の機能として所属・名前・連絡先など必要なことを理解する。
二	3 4	【評価基準】 名刺の使用目的に合った色・書体・大小・配置などの発想・構想を高めようとする。 (思考・判断・表現) (主体的に取り組む態度) 【評価の方法】 スケッチブック観察	③ 名刺の3案以上発想し、構想を練る。(スケッチブックでのアイデアスケッチ) ④ 書体・大小・配置などの構成によって、所属・名前・連絡先がより見やすくなっているかの観点から1案に絞る。
三	5 6 7 8	【評価基準】 PCを使って色・書体・大小・配置を再構成することで、伝える内容や全体の印象などを高めようとする。また、TPO(インターンシップ活用)に応じた構成にする技能を身に着けるようとしている。(知識・技能) (思考・判断・表現) 【評価の方法】 作品観察・行動観察・自己評価	⑤ PCの操作方法を学ぶ。(写真データの加工・データ挿入・文字パーツ貼り付け・大きさ色等の変更) (使用ソフト: Word・Windows 編集) ⑥ PCを使ってさらに名刺の色・書体・大小・配置などを構想する。操作中の画面より内容が伝達しやすいかや全体の印象を再確認する。
四 (本時)	9	【評価基準】 各名刺からデザインの意図を知ろうとする。様々な名刺から感じる印象の違いを知り、他者の見方・考え方を理解しようとしている。(思考・判断・表現) (主体的に取り組む態度) 【評価の方法】 記述観察・行動観察・自己評価	⑦ グループでの名刺交換からと他者の名刺の意図を感じ取り、項目ごとに評価する。 ⑧ 自分の評価と他者の評価の違いから名刺デザインの大切な要素を再認識し、まとめる。
五	10	【評価基準】 日常における生活を彩るための機会や方法に気づき、生活を豊かにするための感性を高めようとする。(主体的に取り組む態度) 【評価の方法】 記述観察	⑥ レポート作成 制作の評価をする。また、日常にあふれているデザインについても気づいた点など記入する。(自己評価)

本時学習指導案		実施日	令和2年11月5日(木)第3限目				
対象クラス	〇〇科第1学年 美術選択生徒20名	実施場所	美術室	授業者	〇〇	〇〇	
本時の観点	評価基準及び評価項目						
知識・技能 A	① 名刺の構成を理解し効果的な伝達方法を理解しようとしている。						
思考判断表現 B	① 名刺の目的や機能を考え工夫したことを言葉と作品で表現しようとしている。 ② 各名刺から目的や機能を考えたデザインであることを感じようとしている。						
主体的に学習に取り組む態度 C	① 色・書体・大小・配置の視点を持ちながら客観的に評価しようとしている。 ② 他者の見方・考え方に触れ、自己の見方・考え方を主体的に広げようとしている。						
本時の目標	各名刺からデザインの意図を知ろうとする。また、様々な名刺から名刺の機能性を知り、他者の見方・考え方を理解しようとしている。						
指導過程							
過程	時間	学習内容および学習活動	指導上の留意点	観点別評価			教材や教具備考等
				A	B	C	
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> 前時のふりかえりから本時の学習内容について理解する。 評価の観点を理解する。 本時ではビジネス用の評価とすることを理解する。 評価の手順を理解する。 (自己評価→Aと名刺交換・評価シート記入→B名刺交換→Cと名刺交換)	<ul style="list-style-type: none"> 4人グループでの名刺交換では、簡単な名刺交換の作法を動画で教える。 名刺交換後、各評価をしてから次の人と名刺交換し評価することを理解させる。 評価時間を設定する。(1人1分) 自己評価部分は折り曲げて自己評価に他者評価が影響されないようにさせる。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 名刺交換の動画 印刷された名刺 写真素材 補助プリント 評価シート
展開	30分	<ul style="list-style-type: none"> 4人で1グループ作り一人ずつ名刺を交換する。 評価する グループ内から合計点の高い1人を選出する。 グループ内で他者評価を記述式で記入する。(時間をみて後日とする場合あり) 前に出て、自分の名刺について工夫した点や評価された点など発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 名刺交換後、丁寧に観察させ評価シートに得点を入れさせる。 グループ内の評価を完了させ、合計点の高いものを選出させる。 点数の高いことが美術の成績に直接反映されるものではなく、名刺を客観的に判断するための点数化だと理解させる。 4グループで4名の発表をさせる。自信が名刺の機能(色・書体・大小・配置など)でうまくいった部分の発表をさせる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> グループからの選出の発表時はスクリーンに名刺の映像を投影する 評価シート
まとめ	10分	<ul style="list-style-type: none"> 名刺の色・書体・大小・配置などの視点で自己評価を記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価を通じて、他者の視点から自己の名刺を客観的に把握する。 本時の振り返りをする。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 評価シート

1 1月5日 美術授業補助プリント		〇〇科	番	名前
活動1	<p>○自分の名刺を準備する。</p> <p>○名刺の工夫した点のまとめ</p> <p>※ unnecessary 情報や情報の大きさなどの工夫の視点も大切</p> <p>※自分の名刺デザインの意図を書きましょう。</p>	自分の名刺について		
		<p>《ビジネス》</p> <p>情報の伝え方</p>	<p>《パーソナル》</p> <p>～な自分</p>	
活動2	<p>名刺を渡すときの作法を知る。実際に仕事で使用するのイメージで考える。</p>	<p>① 挨拶</p> <p>② 名刺を渡しながら自己紹介（名刺内容を口頭で伝える）</p>		
		<p>4人1グループとなり互いに名刺交換及び評価</p> <p>一人選出（ ）</p> <p>グループ内でよかった点をまとめる。</p>	<p>A（ ）←なまえ</p> <p>見やすさ（色・書体・大小・配置等）</p> <p>工夫していた点（ところ）</p>	<p>B（ ）←なまえ</p> <p>見やすさ（色・書体・大小・配置大等）</p> <p>工夫していた点（よいところ）</p>
活動3		<p>C（ ）←なまえ</p> <p>見やすさ（色・書体・大小・配置等）</p> <p>工夫していた点（ところ）</p>	<p>D（ ）←なまえ</p> <p>見やすさ（色・書体・大小・配置大等）</p> <p>工夫していた点（よいところ）</p>	
		<p>客観的視点に立って</p> <p>目的や機能などを基にした見やすさ（色・書体・大小・配置大等）ができたか評価しよう。</p>		
まとめ	<p>評価シートを記入する。（自己評価）</p>			

1 1 月 5 日 評価表シート 00科1年 () 番名前 ()

客観的視点項目	2点	3点	4点	5点	他者評価	自己評価
正確に情報を伝える力 構成要素 (所属名・所属所在地・連絡先・名前)	・構成要素が3つ以上欠けている。	・構成要素が2つ欠けている。	・構成要素が1つ欠けている。	・構成要素がすべてある。	点 点 点	点
情報が「書体・大小」で伝わりやすくなったか。	・文字が小さく、書体も読みにくい。	・文字の大きさは読める程度であるが、読み見やすいと思わない。	・文字の大きさは読みやすいサイズである。もしくは、書体も読みやすい。	・文字や大きさも適切である。 ・書体も読みやすい。 ・書体の印象もよく記憶に残りやすい。	点 点 点	点
情報が「配置」で伝わりやすくなったか。	・それぞれの配置が重なったり近かったりして読みづらい。	・それぞれの配置に近さがあるが読める範囲である。	・それぞれの配置に間隔があり読むことができる。	・それぞれの配置に間隔があり読みやすさに工夫がある。	点 点 点	点
情報が「色」で伝わりやすくなったか。	背景や隣り合わせる色が邪魔して全体が読みにくい。	文字の色は見えるが、背景や隣り合わせる色が少し邪魔している。	文字の色は見やすい。隣り合わせる色など気にならない。	文字の色や隣り合わせる色など効果的に生かして読みやすい。	点 点 点	点
友人たちの評価 (グループ内)					合計点	点
自己評価 (記述)						
指導者からの評価						